

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2005-104911(P2005-104911A)

【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-341057(P2003-341057)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/40 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/22

A 6 1 K 7/16

A 6 1 K 7/24

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月15日(2006.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第4級アンモニウム塩型抗菌剤および/またはトラネキサム酸と、水溶性のカルシウム塩とを含有することを特徴とする口腔用組成物。

【請求項2】

さらに、多価アルコールを含有することを特徴とする請求項1記載の口腔用組成物。

【請求項3】

多価アルコールが1,3-ブチレングリコールである請求項2記載の口腔用組成物。

【請求項4】

水溶性のカルシウム塩が20において水に対して0.04重量%以上の溶解度を有する少なくとも1種以上のカルシウム塩である請求項1~3のいずれか1項に記載の口腔用組成物。

【請求項5】

第4級アンモニウム塩型抗菌剤が塩化セチルピリジニウムである請求項1~4のいずれか1項に記載の口腔用組成物。

【請求項6】

水溶性のカルシウム塩が塩化カルシウム、乳酸カルシウムおよび硫酸カルシウムよりなる群から選択される1種以上である請求項1~5のいずれか1項に記載の口腔用組成物。